

第 14 回 MBA (Membrane Business Academy)

開催案内

一般社団法人先端膜工学研究推進機構

会員企業各位

平素は当会に何かとご尽力を賜りまして誠に有り難うございます。

5月14日(木)の第13回MBAは新型コロナウイルス感染の影響で、オンデマンド配信とさせていただきます。今年度第2回目となります第14回MBA講座はWebexによるLiveで開催させていただきますと考えており、以下のようにご案内申し上げます。

今回の内容は、一橋大学の藤原雅俊准教授および青島矢一教授による「イノベーションの長期メカニズム～逆浸透膜の技術開発史～」についてご講演をいただきます。本内容は昨年9月度に書籍として発行されました。また、本書は2019年度のエコノミスト大賞を受賞されました。非常に興味深い内容となっています。以下に序章よりの抜粋を下記させていただきます。

「産業形成につながる紆余曲折のある長いイノベーションのプロセスを、企業の利潤動機と市場競争の機能だけに還元して説明することは不可能であるように思える。なぜなら、不確実性の高いイノベーション活動へ資源配分を行うことの経済的根拠を、広く人々が納得するように、透明性をもってあらかじめ説明することは難しいと思われるからである。そうであるならば、収益圧力に晒される企業は、将来の収益を計算できないような新技術や新事業の開発活動を、最終的に産業が形成されるまで、どのようにして継続することができるのだろうか。つまり、『高い不確実性の下で新技術や新事業の開発が長期にわたって継続されるのはなぜなのか』。この問いが本書の出発点となる問いである。イノベーションを通じた産業形成を解明するには、この問いに答えなければならない。この問いに基づいて本書では逆浸透膜開発の歴史を分析する。逆浸透膜の開発は水不足という明確な社会課題の解決を目的として始まったものである。社会課題解決型技術の開発には特に高い不確実性が伴うことが多く、それを長期にわたって継続する過程において企業は、必然的に、様々な困難に直面することになる。それゆえ、イノベーション活動の前に立ちはだかる数々の困難が克服される過程がより鮮明に描き出されると考えられる。」

大変お忙しい中恐縮ですが是非ご参加いただきたく宜しくお願い申し上げます。

日時：令和2年8月20日(木) 13:00～17:00

(司会進行 新谷卓司 科学技術イノベーション研究科)

プログラム：

1、はじめに

13:00～13:05	「本日のプログラム説明」	科学技術イノベーション研究科	新谷卓司
13:05～13:10	「開会挨拶」	先端膜工学研究推進機構長	松山秀人

2、第14回MBA (Membrane Business Academy)

13:10～17:00 「イノベーションの長期メカニズム～逆浸透膜の技術開発史～」

一橋大学大学院経営管理研究科 藤原雅俊准教授、イノベーション研究センター 青島矢一教授

